

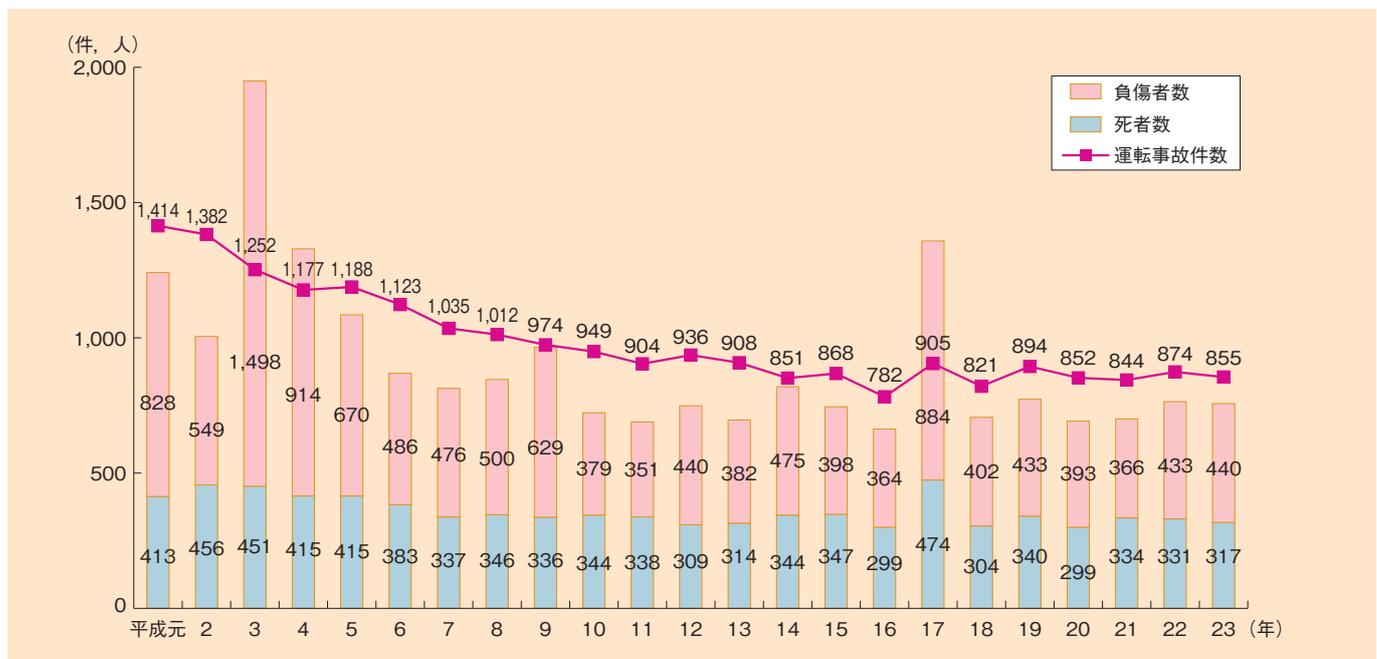
第2部 鉄道交通

第1章 鉄道交通事故の動向

1 近年の運転事故の状況

- ① 鉄道交通における運転事故*は、長期的には減少傾向にあり、平成3年に1,252件であったものが、平成23年の運転事故件数は855件となった。
- ② 運転事故による死傷者数は757人（うち死亡者317人）で前年比0.9%減となった。
- ③ 踏切事故は325件で前年比2.8%増であり、運転事故の約38.0%を占めた。また、死傷者数は211人で前年比15.9%減となった。
- ④ 平成23年中の重大事故（死傷者が10名以上又は脱線両数が10両以上生じた事故）は、5月27日に発生したJR北海道の石勝線清風山信号場において、トンネル内における発災により乗客等79人が負傷した列車脱線事故の1件である。

運転事故の件数と死傷者数の推移



注 1 国土交通省資料による。
2 死者数は24時間死者。

※ 運転事故

列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいう。なお、軌道の運転事故は、鉄道運転事故と同様に定義する。